



全町連だより

第11号

町内会加入率調査 (10月末)

人口 ……23,515人 加入世帯数 ……4,811世帯
 世帯 ……11,210世帯 町内会加入率 ……42.92%

中標津町全町内会連合会だよりは、中標津町のホームページ(生活環境)にてカラー版を閲覧・ダウンロードできます (http://www.nakashibetsu.jp/kurashi/seikatsu/zenchouren/)

●町内会についてのお問い合わせ
 中標津町全町内会連合会事務局 TEL 0153-73-3111 (内線220)

2019年の新春を迎えて



中標津町全町内会連合会
 会長 佐々木 俊 三

穏やかに新春を迎えられた事をお喜び申し上げます。昨年9月に起きた胆振東部地震で被災された方に心よりお見舞い申し上げます。又この地震でブラックアウトになり、北海道全域で経済活動、消費生活に於いて多くの被害がありました。中標津町では2万1千戸最長43時間の停電、被害総額も1億8千万超にもなったところで改めて災害の恐ろしさを感じました。全町内会も、地震等の防災対策を重点課題とし取り組むと共に急速に変化している生活環境の中で子供達の安全と高齢者を見守り、又災害時要援護者登録数も増加する中で、活動を地域に密着したものにさらに進めたいと思います。情報によりますと根室方面30年以内の地震の発生率も78パーセントと高くなりこれからは災害は必ず来る(例えば最悪な時・極寒期の真夜中)と捉え、先ずは各戸で備えましょう。安心・安全な住みよい笑顔の絶えないまちづくりに努力を致します。地域の皆様の参加協力とご理解を頂きます様お願い申し上げます。

全町内会連合会 町内会長会議開催

この会議は町内会活動を取り巻く今日的な課題を取り上げ、単位町内会の現状や課題を交流し今後の活動に役立てようとするものです。去る11月21日(水)役場会議室で行われました。その内容の概要をお知らせします。

1 講話「9月の地震を経験して」行政と町内会が今後の防災対策を考える

役場総務部防災主幹

徳永 博之 氏

平成30年9月6日(木)午前

3時7分 胆振地方中東部を中心とする最大震度7の地震が起こり、それに伴い道内全域(295万戸)で停電が発生しました。中標津町では約21000戸、停電時間の最長は約43時間でした。当町における被害は商工関係29900万円、農業関係1億5千万円、町有施設39万円で合計約1億8千万円という事です。役場では地震発生後直ちに非常電源を確保し、計6回の災害対策本部会議を開催し対

応に当たりました。それは町の備蓄食料の配布、携帯電話などの充電所の設置、断水箇所への給水、被災地への職員派遣などでした。

今回の地震による停電への対応について検証を行い、課題の洗い出しを行い今後の防災対策を考えているそうです。その内容は防災体制と活動、備蓄食料の配布、物資及び資機材の備蓄、充電所の設置、情報提供、広報のあり方、要配慮者への支援体制、防災に関する啓発活動などです。



町内会に望まれる対応としては「自分たちのまちは自分たちが守る」という心構えで、地域の人々が自主的に防災活動を行うことが必要です。特に災害時には①災害情報の収集及び住民への迅速な伝達、②出火防止と初期消火、③避難誘導、被災住民の救出・援護、④給食・給水活動、また平常時には①防災体制・協力体制の構築(自主防災組織の結成)、②防災知識の普及、③地域の災害危険の把握、④防災訓練の実施、⑤防災資機材の備蓄と整理・点検など行政と連携して備えることが大切です。

2 道東ブロック町内会活動研究大会参加報告

①第1分科会(町内会の福祉活動)：佐々木 俊 泉中央町内会長

②第2分科会(町内会の防災活動)：佐藤 一美 東町内会長

③第3分科会(町内会の育成)：小貫 正勝 南町町内会長
 以上3名からそれぞれ報告がありました。このうち第1分科会において中標津町東中町内会澤谷修一福祉部長が実践活動報告をしました。

3 平成31年度新年交流会の開催について(決定)
 ・期日 平成31年1月17日(木)
 11:00~13:00
 ・会場 寿宴
 ・会費 4,000円

4 実践報告「泉中央町内会地域アンケートの調査結果」について
 泉中央町内会 佐々木 俊 会長
 平成30年1月に実施した地域住民の意見や課題について集約し、今後の地域社会づくりに役立てようとするもので、その結果の発表がありました。

「あいさつ・みまもり・たすけあい運動」
 全町連ではこの運動を進めています。
 ◇あいさつ…隣近所、お互いにあいさつ、日ごろの交流を大切にしましょう。
 ◇みまもり…高齢者、子どもたちのようすに関心を持ち見守っていきましょう。
 ◇たすけあい…お互いの思いやりの気持ちをもち日常生活を送りましょう。

「写真の町 東川町」から来町

東川町自治振興会より、町内会活動や運営について意見交流をしたいとお話があり、平成30年10月29日(月)14時から中標津町役場にて研修会を開催しました。

東川町(人口8,313人、3,868世帯)からは、自治振興会役員16名と事務局2名、当会からは会長・副会長・部長5名と事務局2名が出席しました。

佐々木会長の歓迎のあいさつからはじまり、自己紹介、その後意見交流となり、「組織の概要」、「災害時における町内会での取り組み」、「町内会運営に関する悩み・課題」など話は尽きなく予定の2時間はあっという間で終了した。



東川町自治振興会との意見交流の様子

私たちの町内会⑩

旭第2町内会長 齊藤 満

私達の町内会は、旭町内会を(第1、第2)昭和42年に2分割して誕生した町内会です。現在、会員数142戸、賛助会員8戸となっています。

部会は総務・福祉・防犯交通・環境衛生・会員交流の5部会で構成されており、各部会の事業によっては、役員全員で手助けをして活動を盛り立てています。特に町内会発足当時より行われている秋の収穫・味覚祭りである「芋掘り・ハーベキュー親睦会」は、世代交流の活性化を図るふれあいの輪であります。みんなが笑顔になれる、そしてお互いに支え合える町内会をめざして活動しています。



8月「旭第2ふれあい祭り」今年も盛況のうちに終了しました。



武佐にて「芋掘り」



救命・救急隊員による心臓マッサージ講習会

私たちの町内会⑪

まこと町内会長 小笠原 潤

まこと町内会は今年で設立13年目の若い町内会です。約500m四方に住居が立ち並び、公園・小河川があり、閑静な住宅地です。町内会の事業としては、70歳以上の高齢者宅を役員が毎月訪問を行う「顔見知り事業」、子ども育成として「ラジオ体操・花火大会」、全体事業では「道路清掃・道路草刈」、東中町内会との合同事業「中標津神社例大祭参加・子ども餅つき・流しソーメン」を実施しています。

今年には町内会の悲願であった「まこと町内会館」を建設しました。構想から約7年、会員皆様からの寄付などで完成に至りました。今後は会館を核に更なる町内会の連携を深め、住んで良かった町内会を目指します。



H30.9.2 まこと町内会館落成記念式典にて



「歩いて行けるよね。」 — 待望の町内会館 —

会館建設委員会 澤野 功

まこと町内会は、平成17年に設立され今年で13年目になります。町内会の活動は東中町内会館・もりたセレモニーホール等をお借りして行っていました。

23年に会館建設の声が上がり、25年に建設準備に委員会・28年に建設委員会を設立し準備を進めてきました。建設資金は会費の値上げをせず、積立と町内会員の篤志寄付の二本立てにしました。会員の皆様方の温かいお力添えに感謝の気持ちで一杯です。

9月2日(日)の落成式には西村町長をお迎えし、餅つき・手打ち蕎麦・焼肉等で盛大にお祝いをしました。これからは自前の会館で、地域の老若男女が集い、地域の繋がりが一層強まるものとお大変嬉しく思いました。



全町内会連合会の主な活動状況

- 8月21日 全町連 第3回広報委員会
- 9月19日~20日 平成30年度道東ブロック町内会活動研究大会(根室市)
- 第1分科会「町内会の福祉活動について考える」座長…全町連副会長 原 怡男さん
実践報告者…東中町内会福祉部長 澤谷修一さん
記録…全町連総務部長 佐々木優さん
- 9月23日 社協 ふれあいまつり2018への協力
- 9月25日 女性部研修会(1回目)の開催

- 10月1日 社協 赤い羽根共同募金出発式・募金運動への協力
- 10月9日 女性部交流研修会の開催
- 10月14日、21日 「ねむろ自然の番人宣言」秋の一斉清掃
- 10月19日 全町連 正・副会長・部長会議
- 10月23日 平成30年7月豪雨災害義援金寄付(日本十字社)
平成30年北海道胆振東部地震災害義援金寄付(日本赤十字社)
- 10月26日 中標津町交通安全協会主催「高齢者講習会」への参加
- 10月29日 東川町自治振興会視察研修 来町
- 11月1日 女性部研修会(2回目)の開催
- 11月21日 全町連町内会長会議の開催